゙ホームミーティング

ホームミーティング Aグループ

Aグループは、11月17日(月)18:30~、雑司ヶ谷の名店「うなぎ江戸一」にて開催した。稲川会員の稲川スペシャルの鰻のコース料理を堪能した。お通し、鰻ボーン、うな肝、うな鰭、白焼、鰻重、肝吸い、香の物が出揃い、お品書きには無い裏メニューもあった。香ばしく焼き上がった鰻は、一口食べる度に、豊潤な旨味が広がり、至福の時間を過ごすこととなった。

テーマは多岐に亙ったが、健康麻雀の同好会の 話題もあり、鰻と酒で会話も弾み、食の力と温かな 人の繋がりを感じた濃密な時間であった。ホスト 石川会員、コホスト稲川会員に感謝申し上げます。 ここで一句「鰻会 タレと笑顔が とろけ合う」

参加者:浅原英明、石川宜司、稲川一、小泉博明、佐藤美枝子、細田新子、山本伸也

(小泉博明)







東京浅草中央RC創立40周年

東京浅草中央ロータリークラブ創立40周年記 念祝典に参加して

11月15日午後、上記の記念祝典に榊原会長と参加してきました。浅草ビュホテル、浅草(TX)からすぐ近くで、台東区区長も列席しておりました。

15時からの点鐘で、お祝いの挨拶とまた卓話として子供歌舞伎の公演がありました。

浅草にふさわしい演目で、三社祭、白波5人男の口上、NHKドラマベらぼうの一場面がありました。18時からの懇親会は、神事であるびんざさらの鳴り物をもった行列の入場から始まり浅草芸者さんの踊りと演奏、ロータリークラブ40年の記念ビデオ等と盛り沢山の項目で、さすが浅草ならではと感心する企画でした。各クラブの土地柄を生かした企画やクラブのカラーなどがあり、十分に楽しめた周年記念祝賀会でした。

佐藤美枝子



台湾から旭日RCも参加。新井秀子会員と



Rotary Club of Tokyo Ikebukuro Toshima – Eas

3097回

東京池袋豊島東ロータリークラブ 第 15 回例会 2025/11/20

Weekly Report



<mark>会長:榊原一久 幹事:佐藤美枝子 Rl会長:フランチェスコ・アレッツォ 第2580地区ガバナー:中川雅雄</mark>

四字熟語でロータリ 百花繚乱

Rotary

(ひゃっかりょうらん)していきます。

さまざまな花が咲き乱れていることですが、優れた人、業績などが一時にたくさん 出ることです。ロータリーは多士済々の集まりであり、百家争鳴することもある が、百戦錬磨で、千両役者の揃った会員の得意分野で本領を発揮すれば、発展 していきます。 (小泉博明)

本日の例会

11月20日(木)12:30~13:30

卓 話:「出逢い・感謝 ボクシングのおかげで」

例会報告

卓話者:吉田和敏様 紹介者:佐藤美枝子会員

次回の例会

12月4日(木)12:30~13:30 クラブ協議会

ノフノ協議会

11月13日

司 会 横山会員 開会点鐘 榊原会長

ロータリーソング・紅葉

ゲスト

川 義郎様 卓話者/地区法務担当 東京浅草RC

会長報告

1 「ロータリーの友」11月号ご紹介 横組みP3~ 今月のテーマである「ロータリー 財団月間」に関連し、ロータリー財団の活動に ついてアレッツォRI会長が会長メッセージで触 れています。 横組みP5~ 大阪・関西万博でインターアクターの「人権と平和」に関する発表を行った記事が掲載されています。

横組みP12~エバンストンにある国際ロータリー世界本部訪問記が掲載され、P18からは、国際ロータリー日本事務局長土屋博子様のインタヴュー記事が掲載されています。

横組みP20~ビル・ゲイツ氏のゲイツ財団のご紹介です。

幹事報告

- 1 国際ロータリー為替レートの発表(2025年11月) 1.00ドル当たり 154円
- 2 寄付金の申請の催促
- 3 オープン例会の1月8日の周知と新会員候補 者の推薦の催促
- 4 昨年度の地区大会の返金20名で16000円あり。個々の会員への了解をもらったらニコニコにいれる。(本日理事会参加者7名からは承諾あり。残りの会員へはお知らせを送付予定)
- 5 オープン例会の入会候補者のフィーは、無料と する。一般の例会については、他のロータリア ンについては公務以外は有料。判断の難しい 場合は理事会で検討。



受付:稲川一会員 小泉博明会員 宮代昌三会員

司 会: 吉田武輝会員 ニコニコ: 小林征夫会員

写 真:宮部一弘会員 ソングリーダー:加古博昭会員



公共イメージ向上委員会: 委員長 山本会員、副委員長 髙木会員、委員 長尾会員、里見会員、加古会員

Rotary Club of Tokyo Ikebukuro Toshima - East

佐藤(美)会員 皆出席のお祝いありがとうござい

ました。11年もたったとは夢の様で

鈴木会員 30年ぶりに昔ロータリーで訪問し

たNew Zealandを孫の案内で 再訪して来ました。悪天候で昔見 られなかった、Mt.Cockも見て来

ました。

宮部会員 小林会員写真有難うございました。美味しいワインと共に記憶に残

る助けとなります。

11/6合計額:19,000円(※前回未記載)

本日の合計額: 14,000円

今年度ニコニコ累計額:160,000円

第5回理事会報告

日時 2025年11月13日(木)11時~12時 議題

報告事項

- ①榊原会長より2025-2026年度 10月会計報告
- ②国際ロータリー為替レートの11月は 1\$154円
- ③11-1月の例会日程が佐藤(美)幹事より説明があった。
- ④里見社会奉仕委員長より社会奉仕活動の進捗 の報告があった。

審議事項

- ①2024-2025年度地区大会返金処理について、登録者20名で16万円の返金があり該当会員に返金するかどうかの審議となった。クラブ財政の余裕がないなかで該当会員にニコニコを働きかけることが承認された。登録者20名のなかで、ニコニコに賛同を得られない会員には8千円の三分の二相当額を返金する。
- ②2025-2026年度ビジターフィについて、前回 理事会で再審議となり、前回審議内容をベース に再審議した。再審議で前回想定されていない 項目、ガバナー、ガバナー補佐、地区幹事、グル ープ幹事以外の地区役員の来会について、公 務扱いとして登録料を無料とするかは理事会承 認

または会長決済とする。

③2026年1月の第1例会をオープン例会とし、ゲスト(入会候補者)の登録料は無料とし、原資はニコニコから拠出する。

候補者リストについては1週間以内に届け出ることを働きかける。

④ハリケーンメリスタの災害救助支援の寄付応募 の依頼について、依頼者が誰なのかを精査し適 切に処理する。

11月13日卓話



卓話者 川 義郎様

ロータリアンにおけるハラスメント対策研修

1. ロータリアンの特性と背景

社会的成功者:地位や資産を持ち、周囲から大事にされる立場 → 「多少許される」と誤解しがちオーナー経営者が多い:組織のトップで批判を受けにくい → 自己反省の機会が少ない高齢男性中心:年下に「構いたい/尊敬されたい」欲求を持つ場合がある

成功体験の積み重ね:失敗が少なく「昨日もうまくいったから今日も大丈夫」と考えがち → 晩節を汚す危険

2. 思考パターンの誤り

「昔は問題にならなかった」発想:過去の行為が 大きな問題にならず、誤った成功体験として蓄 積基準の変化への対応不足:ハラスメント基準 は時代とともに厳格化・細分化 → 高齢化により アップデート困難

結果:基準を更新できない人ほど危険性が高い

3. 具体的な問題事例

米山留学生

若年・女性が多く、日本語力や立場の弱さを利

Rotary Club of Tokyo Ikebukuro Toshima - East

用身体接触、結婚や飲酒の強要的質問、政治的 に答えにくい質問の執拗な繰り返し 年下会員

女性だけでなく男性も被害

身体接触、不適切な誘い、性的指向を揶揄する 発言

例会会場職員·事務局職員

お客様的立場を利用し、過度な接触・私的質問・大量指示・怒鳴りつけ後任を勝手に連れてくるなど職務を軽視スタッフとの関係

長期勤務者への「甘え」や依存

突然の退職で引継ぎ困難 → 職員を自分の社 員と誤解する危険

4. まとめと対策

基準をアップデートできない人が起こす: 研修や注意が刺さりにくい 自己認識の限界:自分の行動は見えにくい → 仲間同士で注意し合うことが重要 トラブルは取り返しがつかない:ギリギリを攻め ず、慎重な行動を心がける

5. 結論

- ロータリアンは社会的成功者であるがゆえに、 ハラスメントの危険性を抱えやすい。
- 成功体験に頼らず、基準をアップデートし続けることが不可欠。
- 自分の行動は見えにくいため、仲間同士での注意・支え合いが重要。
- トラブルは取り返しがつかないため、慎重で謙 虚な姿勢を常に保つことが求められる。

社会奉仕委員会

社会奉仕活動の進捗報告

1. としまこども講談教室

講師:宝井琴鶴(真打)、宝井小琴(二つ目)、 宝井琴人(前座)3名

「道徳科」の授業 3・4時間目 今年度実施予定2校のうち、1校を実施しまし

11月7日(金) 豊島区立朋有小学校 4年生 (103名)を対象に実施・給食体験 今後の予定

12月19日(金) 豊島区立朝日小学校 5年生 (53名)で実施予定・給食体験予定

2. 児童養護施設錦華学院と共同の活動

・地域交流イベント「お楽しみ会」における バザー

10月26日(日)10時~15時に実施 施設内の子供ヘプレゼントを行い、近隣住民 への理解促進にも貢献しました。

売上33,890円、会員からの寄付65,000円から子供へのプレゼントなどの経費を差し引き、60,000円を錦華学院に寄付しました。 会員の皆様には、商品の提供や寄付など多大なご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

・今後、子供や職員を対象とした小講座を検討します。

3. こどもカルタ大会

「としまこどもカルタ」の普及に向けたイベントとして、2026年1月31日(土)午後、雑司が谷公園丘の上テラスでカルタ大会を実施する予定です。

参加資格 一小3、小4

豊島区教育委員会を通じて参加募集します (社会奉仕委員長 里見雅行)

錦華学院へ寄付

11月17日(月)、榊原会長と山本バザー実行委員 長により、10月26日(日)に行われたバザーの収 益が寄付されました。



錦華学院土田理事長へ寄付金贈呈



皆さんの笑顔が たくさん見れるといいな♪